

地域間交流研究 I .

1. テーマ

可動的市場（軽トラ市）の越境的構成に関する実証的研究

2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

代表研究者 小澤高義（豊橋市役所）

共同研究者 森一洋（しんしろ軽トラ市WGリーダー）

安彦誠一（奥三河観光協議会事務局長）

磐田商工会議所代表者

新城市役所代表者

小森康史（㈱ファミリーマート）

鈴木伴季（東三河地域研究センター）

森本啓吾（愛知大学地域政策学センター）

3. 期間

2017年6月から2018年3月まで

4. 目的

可動的な市場である軽トラ市の可能性を検討するとともに、三遠南信地域全体での越境的な軽トラ市連携の方向性と運営体制を検討することを目的とする。

5. 実績概要

平成29年10月～11月に磐田軽トラ市出店者アンケート調査を実施（出店者300名に配布、163名回収）し、出店者の出店動機や出店可能範囲、営業形態などを明らかにした。

また、平成30年1月に三遠南信地域の軽トラ市関係者を集め、今後の軽トラ市相互の連携や三遠南信地域連携推進ビジョンとの連動について意見交換を行った。

6. 今後の展開

可動的な市場である軽トラ市の特性を活かした越境連携の取組みとして、連携事業の具体化や実施体制などについて検討を進めるとともに、平成30年度に策定予定の三遠南信地域連携推進ビジョンの事業として展開し、三遠南信地域全体で軽トラ市を盛り上げ、支える仕組み・仕掛けづくりの検討を進める。

7. 研究内容

名称：軽トラ市ネットワーク

日時：平成30年1月31日（水）

場所：愛知大学（豊橋校舎）本館5階 第4会議室

概要：①軽トラ市に関するこれまでの調査結果報告

②SENAビジョン・事業の協働

③意見交換

◆ 参加者内訳

区分	機関数	受入人数			延べ人数		
		外国人	研究者	大学院生	外国人	研究者	大学院生
学内(代表者法人内)	1	1					
国立大学							
公立大学							
私立大学	1	3	2				
大学共同利用機関法人							
公的研究機関							
民間機関	3	7					
外国機関							
その他	1	2					
計	6	13 (2)	0	2	0	0	0

8. その他実績

（学会発表）

戸田敏行・小川勇樹・小澤高義「軽トラ市」の実態分析と将来展開に関する考察」、第9回地域活性学会、2017年9月2日